

6
月
号

第481号

いっしん

令和7年(2025年)

雨にぬれ
日に照らされて
草木にも
花咲きにけり
実も結びけり

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御教

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

立教166年／小倉教会布教140年／甘木親教会布教121年／加治木教会布教74年

竹製の
三脚を立て
薪を焚き
肉や野菜を
みなで味わう



西部劇
幌馬車キャンプに
つかわれた
鋳物鉄鍋
ダッチオーブン

少年少女会 野外調理

ゴールデンウィークが始まった五月三日、天地のお恵みをたたえるようにウグイスやホオシロが気持ちよくさえずる、新緑につつまれた「仙寿の里温泉」(教徒瀬尾部)の山あいの広場で、少年少女会「野外調理」が開かれました。

開会儀礼で、まず天地自然のお恵みの尊さや、食べ物を粗末にせずありがたいたたき、食話を聞いてから、今回はスベアリのコーラ煮をダッチオーブンで、カレーライスを大鍋で作らせていただき、お腹いっぱいになったところで、きれいに草刈りされた広場で「宝探し」ゲームをしました。

また、休憩時間のバッタや蝶などの虫捕りも、残り火で焼く焼きマシユマロも楽しいひと時となりました。

「仙寿の里温泉」瀬尾さん方には、数日前に使用をお願いしたにもかかわらず、広場をきれいに草刈りして下さい、ありがとうございました。

楽しく美味しくありがたく活動ができました。
(次ページにつづく)

少年少女会「野外調理」… P1～3
お知らせ… P7

『私の頂く安武松太郎師』… P4～6
教会行事… P8

野外調理

スペアリブのコーラ煮は、ジャガイモ、タマネギ、ニンジンなどの野菜も入って、シッカリ炊いて味もしみ込み上々のできあがりとなりました。好天気に恵まれたので、薪への火付きもよく、ローズマリーやシヨウガを持って行くのを忘れてしまいましたが、ポリウムたっぷり美味しく炊き上がりました。



カレーライスは、大鍋で肉や野菜を煮込みました。鍋が大きいので、最初たぎるのに時間がかかりましたが、薪の火も強くなりおいしくできました。



天気は晴れ！
薪に火がつきやすかった！



自分たちで祈りを込めて調理した料理をおいしくいただいたあとは「宝探し」ゲームで楽しみました。



大鍋で、豪快につくるカレーライス、いつもの小鍋のように火がとおらず煮込みに案外に時間がかかってしまいました！



自然のなかで、みんなでおいしくいただきました。



残り火で焼きマシュマロ！





みんなで宝探しだー！



「宝探し」ゲームは、星原光太郎さんが、みんなが知らない間に広場のいろんなところに宝のカードを隠して驚きのスタートとなりました。小学生には何とか探し出すことができていましたが、幼稚園児は小学生の協力で見つけることができていたようです。

また、見つけた宝のカードにもひとひねり、ふたひねりの、知恵をこぼる工夫が仕込まれており、話し合いをして謎を解き、一人一人にいろんな夢と祈りの詰まった景品が準備され、小学校上級生から幼稚園児まで楽しい時間を過ごすことができました。



謎解き、
できるかな～？



みんな
お宝カードが
それぞれそりい
謎もようやく
とけて？！
ステキな景品が
もらえました！

『私のいただく安武松太郎師』

(矢野政美著 昭和五十六年
十二月発行)

4、学院より親教会修行へ

昭和二十二年十二月、学院の課程を終え親教会へ帰教させていただき、恩師の膝下で修行に入らせていただきました。

矢野政美夫人



安武松太郎師

甘木教会のご家族と修行生（昭和二十三年正月）

当時は修行生の数も少なく、帰教後三日目に恩師は何かの御用ができて、私に御結界のお手代わりを命ぜられ奉仕のおかげを蒙らせていただきました。責任の重大さと未経験のこのために、恐れおのきながらも一心におすがりしておかげを蒙らせていただきました。当時のことを考えてみますと、まったく冷や汗の出る思いが致します。

以来三年六ヶ月間、修行らしい修行は出来ないながらもご教導を頂きましたが、すでに恩師はご老境に入りになっておられ、生きながらに神になっておられるように拝されました。

恩師のご日常のお姿そのままが信心であられ、自然の発露とでも言えます。ようか、教えられることはばかりでありました。

いろいろなことで失敗し、どんなにお叱りを受けるだろうかと恐る恐るお部屋にお詫びに行きますと、いつも軽く「これから注意しなさい」と、笑みを浮かべて仰せられたこともあり、ご自分に対してはあくまでも厳しく、人に対しては寛容なお気

持ちであられました。

ご晩年は朝のご祈念と教話が終わった頃、御神前にお進みになられ御祈念されるのが常でありました。また、親奥様は、朝の御祈念中は控の間で、恩師の御祈念中はお広前に出られて共祈念をされておりました。

御神前、御霊前への御祈念が済まされると、朝食も召されずに朝奉仕の者とお代わりになられ、御結界にお座りになられることもしばしばでありました。

一旦御結界にお座りになられたが最後、梶子（てこ）でも動かぬというご態度で、御取次を頂く氏子の願いをお聞きになられご理解が続きました。御結界の前にはいつも二、三十名の人々が一言も聞きもらすまいと、耳を傾けて拝聴し信心生活に取り組ませていただきました。

恩師のご理解を、私なりに感受させていただきましたことは、天地金乃神様と氏子の関係を、人間の親子の關係に例えて、子を思う親の心の切なさとお神様の氏子を思召す神み心とは、その質は同じであるが量においては大差があり、親神様の

神み心を大海の水とすれば、親の心はその大海の水を、小さなコップに汲んできて入れたようなものであるということをも、浄瑠璃などのいろいろな比喩をもって、こんこんと噛んで含めるようにお話になっておられました。

修行中の私どもは、控の間で御神米調整の御用をさせていただきながら、恩師のご理解に耳を傾けて聴かせていただいています。

恩師にとっては、御結界ほど心の落ち着く場はなく、また、楽しいところはあまりになかったように拝察されました。

恩師は、教え子たちの上を思い、お役に立つ人になってくれとの祈りが一番深くあられましたが、ちょうど、夕食時に恩師が入浴された気配がしたので、食事を途中でやめて浴場へ飛んで行き、お背な流しをさせていただこうとすると「あんたは、食事中であつたらうが、食事はゆっくりと頂かないと体のために悪いバイ」と仰せられました。

恩師は、「もの皆は神の恵ます賜ぞ仇にはならじわすかたりとも」

とのみ教えそのままに、一滴の水も、一枚の紙も粗末にはされませんでした。

さらに、日々のご理解は、氏子を思う親心の切なさを通して、親神様の神み心を語り聞かせられましたが、それは、ご自身が可愛い盛りの末子の登様を六歳で亡くされ、さらにご長男の百太郎先生を三十一歳の若さで亡くされた、言葉に表せない親心を、親神様の大御心は、この親心の幾千倍であろうと思ひ召されての御理解であるので、真に迫った御理解であり比喩でありました。

聴かせていただく私どもは胸元が熱くなる思いがいつもしていました。

信心は、願うおかげが目的ではなく、今日まで生かされて生きている自分の姿、この身このままがおかげの現れであり、信心は「過去の精算」で、今日までの御礼と御礼（喜び）の足らざる御詫びであるとお説きになられ、恩師自らが神様の御前に、「何ぼう御礼申し上げても御礼が足らず、何ぼうお詫び申し上げてもお詫びが足らんがなあ」と、老いの目に涙を浮かべて仰せられることもし

ばしばでありました。

恩師のご晩年は、ひたすらこの御礼とお詫びに終始されたように拝せられました。

また、恩師は、御結界奉仕をこの上なく大事にされました。

教団の要職で御用に出向かれたり、出社教会の記念祭で外へ出られたり、また、教徒の家の式年の霊祭詞をお書きになったり、遠隔の信奉者への書簡のご返事をお認めになったりされる時は奥の間にあられましたが、その外はすぐに御結界にお座りになってありました。

修行生の私どもにも、御結界の座を空けることを強く戒められました。

恩師が軽くご発病されたのは、昭和二十四年七月、吉井教会の月次祭にお出でになってからのことでありました。

当時は、今日のような交通の便利さがなく、恩師は、比較的近距离のところへは、信徒方の製材所のトラックの運転台の助手席に便乗されてありました。今にして思えば、容易ならぬご時節ではありました。

恩師のご発病は、日々のお疲れか

らきた軽微な脳出血の兆候とのこと
で、一ヶ月ほど静養されてほどなく
回復され、月次祭・御大祭には祭主
としてお立ち下さり、私どももほっ
とさせていただいていたいました。

あたかも昭和二十四年は、甘木布
教四十五年に当たり、その記念祭が、
十月二十五日・二十六日の両日にわ
たつてご奉仕になりました。

さわやかな秋晴れのお天気に恵ま
れ、参拝者は斎場、庭上ともに立錫
の余地なく、盛大なご祭事をお仕え
になられ、感激の中にご祭典を拝ま
せていただきましたが、現教主金光
様（当時四代様と申上げておりまし
た）のご参拝があり、ご祭典後のご
祝辞で御理解第六十三節の「一粒万
倍といおうが一人がおかけを受けた
ので千人も万人もおかけをうけるよ
うになるからよい手本となるような
信心をせよ」とのみ教えから、恩師
のご功績を讃えてのお言葉があり、
さらに来賓の斎藤甘木市長から「私
は今から四十五年前に、この甘木の
地に安武先生がお出でになったので
はなく、生神様がお出でになったと
思います。今日の甘木の発展にお尽

くし下さり、人身の善導にお尽くし
下さいましたご功績に対し、町民に
かわり厚く御礼申し上げます」と述べ
られたことは、今でも脳裏によりみが
えてまいります。

また、ご祭典後の講話には、北米
サンフランシスコ教会長の福田美亮
先生が講師としてお出でになり、両
日にわたつてのご教話を頂き、夜は
甘木町公民館で「新日本の進むべき
道」と題する公開講演会が行われま
した。

甘木町に奉賛会ができ、全町挙げ
ての奉迎でありました。

恩師にとつては、これが最後の御
大祭となりました。

(つづく)

来年、令和八年は加治木教会布教七十
五年のお年柄で、五月には記念大祭をお
仕えさせていただくことに致してあり
ます。その記念事業として『わたしのい
ただく安武松太郎師』（矢野政美著）を
加除訂正し、若い人たちにも読みやすい
言葉づかいに改め、再版させていただく
ことを考え準備を進めております。

加治木教会記念祭に向け

バンド隊の育成に

とくももう！

バンド隊の練習は、昨年少し取り組ませ
ていただきましたが、現在は休止中です。

この先、バンド隊の活
動をつづけていくにも、楽
器が十分にありません。

そのため、楽器が不要
になった施設や団体、もし
くは個人、さらにはその
入ルートなど、情報を
お寄せください。また、気
をつけておいてください。



感 詠（教会長）

山あい少年少女と調理する

横でウグイスさえずりており

深山^{みやま}にて歎び歌うウグイスは

八十八夜 子育てのはず

あれこれと忘れることも数多^{あまた}あり

事の多さか年のせいかと

余裕ある計画進め忘れごと

少なくなるを努めたいもの

少年少女全国大会に向け(7月末まで)

まごころ運動

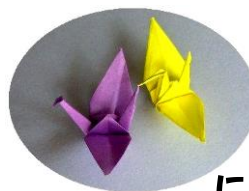
に取り組みましょう。

平和の折りづる

※古切手・古カード

えんぴつ(新)

を集めます。



▼換金後、海外の恵まれない子どもたちへ送られます。

使用済み切手収集についてのお願い

※お願い

※切手ははがさないで、以下の要領で切り取ってください。

※切手の周囲を5mm程度あけて切り取ってください。

※枚数を明記してお届けください。

※外国切手や台紙からはがした切手がある場合は別にしてお届けください。



ご霊神様のおまじり

六月

平地正巳之霊神(1日) 昭和20年

前田 豊之霊神(6日) 昭和20年

星原雅志之霊神(11日) 昭和56年

最勝寺ヒサ之霊神(11日) 平成11年

汰木セツエ之霊神(11日) 平成22年

大重為光之霊神(20日) 平成18年

三反クニ子之霊神(24日) 昭和21年

平地フヂエ之霊神(25日) 昭和18年

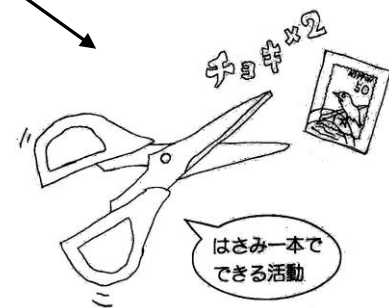
安武シケ清和大刀自之霊神(26日) 昭和32年

前田賢二之霊神(27日) 平成3年

金竹フミ之霊神(27日) 平成25年

本中野米子之霊神(30日) 昭和62年

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



使用済み切手の収集は少年少女全国大会「まごころ運動」の取り組みのひとつです。

あじあと

加治木教会行事記録

5月

1 (木) ●報徳月例祭 10時半

3 (祝・土) 少年少女会 野外調理

8 (木) 甘木親教会布教記念祭参拝

9 (金) 清掃御用 10時

10 (土) 人吉教会御大祭 11時

11 (日) ●月例祭(主祭金井天神様) 10時半

17 (土) 準備御用 10時

18 (日) ●加治木教会御大祭 11時

21 (水) 清掃御用 10時

22 (木) ●月例祭・共励会 13時半

25 (日) 新田原教会布教六十年記念大祭 11時

27 (火) 28 (水) 甘木親厚会教会巡拝

(甘木親先生・出社先生方加治木教会へ参拝)

28 (水) 県教誨師会(寺にて)

31 (土) 清掃御用 10時

まいにちげんきに

「チャレンジカード」に

とりくめていますか?

少年少女会「チャレンジカード」は、5月から7月15日までの、信心の「取り組み表」です。

六月二十二日(日)午前十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

布教七十四年記念祭 奉仕

※祭典後、教話。

六月三十日(月) 十時半より

上半期感謝祭 奉仕

※感謝祭お届け用紙、「ご記入の上
御結界へお届け下さい。

七月六日(日) 午前十時半より

連合会 主催 勤労者交流センターにて

信奉者集会

講話 小林太典先生(教務センター次長)
宮崎県美々津教会長)
講題 「世話になるすべてに礼を言う心」

七月二十七日(日)

午前十一時より

加治木教会

祈願祭 奉仕

※祭典後、ご教話、お直会。

教会行事

6月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (火) 親教会参拝日 (参拝 未定)
- 8 (日) 御本部教団独立記念祭 (遷 拝)
- 9 (月) 清掃御用 10時
- 10 (火) ●月例祭 生神金光 大神様 10時半
- 11 (水) (教区) 教会長教師研修会 (鹿児島 教会)
- 14 (土) 15 (日) 信徒部教区委員会 (宮崎 県内)
- 15 (日) 庄村家霊祭
- 21 (土) 清掃御用 10時
- 22 (日) ●月例祭・共励会 10時半
- 併せて 布教74年記念祭
- 24 (火) 連合会 教師研修会 (加治木 教会)
- 26 (木) (甘木 親教会) 教師婦人部会
- 29 (日) 清掃御用 10時
- 30 (月) 上半期感謝祭 10時半

7月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 10 (金) ●月例祭 10時半
- 14 (月) 連合会 企画会議 (鹿児島 教会にて)
- 17 (木) ●甘木親教会 祈願祭
- 20 (日) 多良木教会 祈願祭 11時
- 21 (月祝) 清掃御用 10時
- 22 (火) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (水) 教師御用 (鹿児島 刑務所にて)
- 24 (木) 教師家庭婦人会 (上荒田 教会にて)
- 26 (土) 前日準備御用
- 27 (日) 加治木教会 祈願祭 11時
- 31 (木) 清掃御用 10時

※大人は「信行チェックシート」に
チャレンジしましょう！(7月頃)

